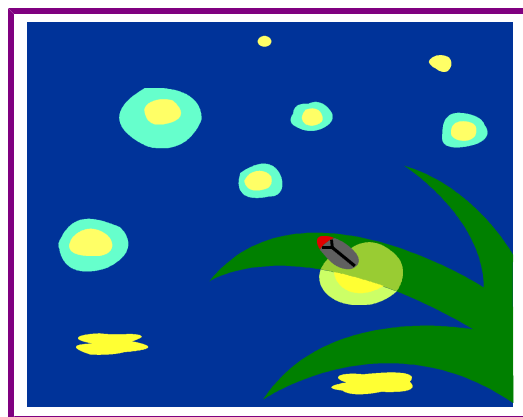


# めぐみイエス・キリスト教会

2019年8月4日(日)第一主日礼拝  
週報「通算第467号」



2019年標題聖句

第Ⅱペテロ1章10節

《ですから、兄弟たちよ。ますます熱心に、あなたがたの召されたことと選ばれたこととを確かなものとしなさい。これらのことを行なっていれば、つまりくことなど決してありません。》

第一礼拝	毎週日曜日	午前10時～11時
第二礼拝	毎週日曜日	午後6時～7時
聖書の学びと祈り会	毎週水曜日	午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2019年8月4日 第一主日礼拝  
第一礼拝 午前10時 第二礼拝 午後6時  
司会 鈴木 竜実牧師 奏楽 佐野 みゆきさん

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌325 「歌いつつ歩まん」 p. 515

【交読文】 No.39 詩篇第122篇 p. 911

【賛美Ⅱ】 新聖歌339 「めぐみの高き嶺」 p. 538

【使徒信条】 【主の祈り】 【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.7 「私の十字架」

【聖書朗読】 ヨハネの福音書18章33節～38節前(p. 200下段)

【祈 禱】

【説 教】 《真理とは何か?》 鈴木 竜実 牧師

【聖 餐 式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165 「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝禱後奏】

◎本日の聖書箇所【ヨハネの福音書18章33節～38節前】(新約p.200)

18:33 そこで、ピラトはもう一度官邸には行って、イエスを呼んで言った。「あなたは、ユダヤ人の王ですか。」

18:34 イエスは答えられた。「あなたは、自分でそのことを言っているのですか。それともほかの人が、あなたに私のことを話したのですか。」

18:35 ピラトは答えた。「私はユダヤ人ではないでしょう。あなたの同国人と祭司長たちが、あなたを私に引き渡したのです。あなたは何をしたのですか。」

18:36 イエスは答えられた。「私の国はこの世のものではありません。もしこの世のものであったなら、私のしもべたちが、私をユダヤ人に渡さないように、戦ったことでしょう。しかし、事実、私の国はこの世のものではありません。」

18:37 そこでピラトはイエスに言った。「それでは、あなたは王なのですか。」イエスは答えられた。「私が王であることは、あなたが言うとおりです。私は、真理のあかしをするために生まれ、このことのために世に来たのです。真理に属する者はみな、私の声に聞き従います。

18:38 ピラトはイエスに言った。「真理とは何ですか。」

●ポイント1. ポンテオ・ピラトによる第一回政治裁判(共観福音書から)

※ルカの福音書23章1節～5節「ユダヤ人の王か？」(新約p.151下段)

●ポイント2. ヘロデ・アンティパスによる第二回政治裁判

※ルカの福音書23章6節～11節「エルサレム宮殿にて」(新約p.151下段)

●ポイント3. 「真理とは何か?」「真実とは何か?」

※ヨハネの福音書1章1節～5節「現代訳聖書(尾山令仁師訳)から」

1:1 まだ、この世界も何も無かった時、すでにキリストは存在しておられた。キリストは神と共におられ、また神ご自身であられた。

1:2 このように、キリストは神ご自身であられながら、唯一の神のうちにおられるもう一人の人格であられた。唯一の神には三人格があって、父と子と聖霊である。キリストは子であられる。

1:3 すべてのものは、神によって造られた。だから、神であられるキリストによって造られないものは一つも無かった。

1:4 神であられるキリストには、本当の命があり、この命こそは、人間が歩む道を照らす光にほかならない。

1:5 キリストの命は光として、闇の世界に輝いており、闇の世界は、決してこれに打ち勝つことができない。

※第Iヨハネ5章20節「まことの神、永遠のいのち」(新約p.432下段)

5:20 しかし、神の御子が来て、真実な方を知る理解力を私たちに与えて下さったことを知っています。それで私たちは、真実な方のうちに、すなわち御子イエス・キリストのうちにいるのです。この方こそ、まことの神、永遠のいのちです。

※第IIヨハネ1章1節～3節「私たちと共に」(新約p.433上段)

## ◎先週のメッセージの概要【異邦人に引き渡された主イエス】

《さて、マタイの福音書は、第三回宗教裁判を、省略して書き記しています。それによりますと、『夜が明けると、祭司長、民の長老たち全員は、イエスを死刑にする為に協議した。それから、総督ピラトに引き渡した。』と、だけです。

しかし後にルカは、その詳細を書き記します。彼はこの場にはおりませんが、それが可能だったのは、サンヘドリン議員の中にサウロがいたからです。『夜が明けると、民の長老会、それに祭司長、律法学者たちが集まった。彼らはイエスを議会に連れ出した。「あなたがキリストなら、そうだと言いなさい。」「私が言っても、あなたがたは信じないでしょうし、私が尋ねても、あなたがたは答えないでしょう。しかし今から後、人の子は神の右の座に着きます。」「ではあなたは神の子ですか。」

「あなたがたの言うとおりに、私はそれです。」「これでもまだ証人が必要でしょうか。私たち自身が彼の口から直接それを聞いたのだから。」

主イエス様は、大祭司カヤパに答えられたことを、議会においても同じように宣言されます。すなわち、「エゴー・エイミ(私は有って有る者です)」と。

時を同じくして、この最高議会での判決の後に、十二使徒の一人であるイスカリオテのユダの取った行動が、マタイの福音書には書かれています。

ユダは、旧約聖書に預言されたから、イエス様が、「滅びの子だけが滅びた」と言われたから、死んで行ったのではありません。何度も救いの手を差し伸べられた主イエス様の、その愛と哀れみの手を、自ら払いのけたからこそ、ユダは滅びて行ったのです。最初から定められていた運命ではありません。ユダ自身の意思なのです。人は、救い主である主イエス様の十字架による愛と哀れみと恵みを、自らの意思で拒否し、自らの罪の為に死に、そして滅んで行くのです。無償の救いの手が、すべての人に差し伸べられているのに。

主イエス様は、異邦人の手に渡されました。それだからこそ、「十字架」にかけられたのです。この十字架があるからこそ、私たちは罪赦され、永遠の命をいただけたのです。私たちは、永遠の命を、今すでに持っています。》

## ◎お知らせ

※次回の礼拝は8月11日ですが、時間を変更して午後2時から行ないます。午前10時及び午後6時の礼拝はありません。また次回「聖書の学びと祈り会」は、8月14日(水)に行ないます。8月21日(水)の祈り会はお休みとなります。